

日本の水 役わりたくさん ありがとう

水道週間の標語で入選

3/17



全国から2,650点の応募があった「第62回水道週間協賛懸賞募集」の標語の部で、伊田小学校3年生の香川爽さんの作品「日本の水 役わりたくさん ありがとう」が入選。香川さんはコロナ禍で毎日手洗いをする中、水の大切さや役割の多さを感じ、感謝の気持ちを表現しました。

子どもたちの学びに尽力

市の教諭が文部科学大臣優秀教員賞を受賞

3/19



大浦小学校の田中公一朗主幹教諭（当時）が、最優秀教職員として文部科学大臣表彰を受けました。これは、田中さんが「学力向上コーディネーター」として、同校児童の学力向上に貢献したことが評価されたもの。田中さんは『今後も、子どもたちの「わかった!」という喜びのために尽力します』と話しました。

余ったはがきを田川のために

未使用はがき6,000枚寄贈

3/24



市内在住の河端隆さんが、未使用の官製はがき6,000枚を市に寄贈しました。河端さんは郵便はがきに一手を書いて送り合う「郵便将棋」の愛好家です。昭和55年から続けていましたが、対戦相手が年々減少。使わなくなったハガキの寄贈を5年前から続けており、市へ寄贈されたハガキの累計は19,000枚にのぼりました。

YELL

～輝くあなたを応援～

スポーツや芸術、ボランティア活動などさまざまな分野で活躍する人たちが、市長への表敬訪問のため市役所を訪れています。

輝かしい功績や寄贈された作品などを、表敬の様子とともに紹介します。

たがたん健幸ポイント事業

第1期優秀参加者表彰

3/31



本市では「歩いて健幸になろう」をスローガンに、たがたん健幸ポイント事業を実施しています。

今回、同事業に参加して積極的に健康づくりに取り組み、獲得した健幸ポイント数が多かった上位3人を表彰。写真左から、林昭子さん、満倉明美さん、藤本清美さんが二場公人市長から表彰状と記念品（株式会社タニタヘルスリンク、大塚製薬株式会社提供）を受け取りました。

3人は「今後もウォーキングを続けます」と声を揃えました。

たがたん健幸ポイント第2期参加者募集中

●対象 本市に住民票がある、令和3年度中に40歳以上になる人（昭和57年3月31日以前生まれ）

※参加条件が複数あります。詳しくはチラシをご覧ください。

●募集人数 450人程度

●申込期限 定員になり次第締切

●参加費用 1,000円

※申し込み時に体組成・血圧の計測などを行うため、必ず本人が市保健センター窓口で申し込みください。

市保健センター（☎44-8270）

